

# 「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」

## を用いた看護実践能力の育成

公益社団法人日本看護協会 看護研修学校教育研究部  
部長 渋谷 美香

日本看護協会では、平成 28 年 5 月に全国標準の指標を目指した「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」（以下、JNA ラダー）を公表しました。JNA ラダーは、2025 年の少子超高齢多死社会を見据え、あらゆる施設や場におけるすべての看護師に共通する能力として、患者・対象者・利用者などを総称した「ケアの受け手」への看護実践能力に焦点化されています。

JNA ラダーでは、看護実践能力を「ニーズをとらえる力」「ケアする力」「協働する力」「意思決定を支える力」から構成し、新人看護研修を基盤として位置づけ、5 段階設定と細やかに表記することで、社会人経験を有した新人看護職員の増加、中途採用者入職の増加、地域連携や在宅看護への転換など、医療社会情勢を踏まえて、多様かつ質の高い看護実践を提供できる人材育成を目標としました。

クリニカルラダーやキャリアラダーを導入している医療施設は多くみられますが、段階やレベル、基準は施設ごとに異なります。また、中小規模病院や高断者介護施設、訪問看護ステーション等では教育に携わる人材の確保が困難であり、教育支援体制の強化を必要としている施設も存在します。看護実践力を可視化することで、ケアの受け手を中心にした看護実践の重要性をあらゆる場の看護師が再認識することができるのではないかと期待しています。

平成 28 年 5 月の公表後、「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」活用のための手引きや実践例などの関連資料の公表も併せて進め、様々な施設や場における導入や活用や推進してまいりました。その結果として、多くの現場で JNA ラダーを導入およびご活用いただいているとの報告をいただくと共に、平成 28 年度に日本看護協会が厚生労働省の看護職員確保対策特別事業で実施した「中小規模病院の看護の質の向上に係る研修等に関する調査」においても、調査にご回答いただいた 300 床未満の中小規模病院での JNA ラダーの認知が 92.0%であり（有効回収数 473）、そのうち 53.6%が JNA ラダーの導入を検討していることが明らかとなりました。

JNA ラダーは、個々の看護師の方々には「看護実践能力の自己評価・自己研鑽ツールとして、専門職である自身の成長のために」、また、看護師が所属する組織の皆さまには「組織の理念や目的と照らし合わせながら人材育成・教育支援ツールとして看護師を育成するために」といった 2 つの側面から、看護師の看護実践能力向上における看護の質担保を目指して、ぜひご活用いただければと考えております。

1990 年聖路加看護大学（現：聖路加国際大学）卒業後、国家公務員等共済組合連合会虎の門病院にて臨床、兵庫県立看護大学（現：兵庫県立大学）にて教育を経験し、2000 年兵庫県立看護大学大学院看護学研究科修士課程修了。埼玉県立大学、社団法人日本看護協会教育研究部継続教育係チーフマネージャーを経て、2008 年より NKN(Nursing Knowledge Network)代表。2012 年 4 月より現職。